

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立伝法小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	此花区
学 校 名	大阪市立伝法小学校
学 校 長 名	飽田 誠男

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立伝法小学校では、第6学年 35名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立伝法小学校の結果概要

調査結果から、平均正答率の全国・大阪市との比較では、国語、算数において下回っている。しかし、昨年度よりも国語、算数ともに平均正答率が向上しており、結果として全国・大阪市との差が縮まっている。

領域別正答率（対全国比）については、算数の「測定」「変化と関係」において全国より上回っている。すべての領域においても昨年度より全国との差が縮まっている。しかし、国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」においては、全国と大きな差がある。

無回答率については、全国・大阪市よりも低く、児童の調査に主体的に取り組もうとする意欲が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】昨年度の全国との正答率と比較すると、すべての領域において改善が見られた。「言葉の特徴や使い方に関する事項」において全国の平均正答率との差が令和7年度の30.1ポイントから令和8年度が11.7ポイントと大きく縮まった。「書くこと」については、令和7年度の16.8ポイントから1.6ポイントと大きく縮まり、表現方法の工夫を中心とした校内研究を推進した成果といえる。

「読むこと」については、昨年度から1.9ポイント縮まっており、音読タイムや読書タイム、図書館の活用などの取り組みが読む力の育成に繋がってきている。しかし昨年度同様全国との差がある。漢字能力検定やでんでん漢字検定などの取り組みによって、更なる学習の定着を図る必要がある。

【算数】昨年度の全国との正答率と比較すると、すべての領域において改善が見られた。「測定」については1.9ポイント、「変化と関係」については0.8ポイント全国の平均正答率を上回った。日常的に関連する問題に取り組み、問題に慣れることを積み重ねた成果といえる。今後は、「データ活用」において、収集した情報を活用する経験を積み重ね、更に学習者用端末を活用し既習事項の反復練習をすることで定着を図っていく。

質問調査より

意見交流を中心とした授業や学習用端末を用いた学習、でんでん漢字検定等児童が楽しく学べる学力向上の取り組みを実践することで「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対しての肯定的な回答の割合は、全国・大阪市よりも高く、概ね児童は学校で楽しく学校生活を送っていることがわかる。「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問について、肯定的な回答をする割合が全国・大阪市よりも高い。しかし、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の質問に対しては、全国・大阪市に比べて肯定的な回答をする割合が低い。今後は、自分の考えを表現し、友達の考えを大切にしてお互い協力しながら課題の解決に取り組む児童を育成していかなければならない。

今後の取組（アクションプラン）

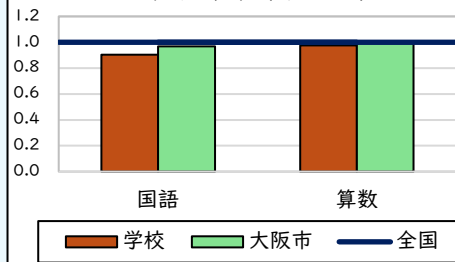
今年度は、「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、自分の考えを根拠をもとに説明したり、筋道を立てて表現したりする力をつける授業づくりに取り組んでいる。個人・グループで情報を整理・分類しながら考えをまとめ、友達の考えと比べて考えたり、自分の考えを見直したり、意見交流していく場づくりをさらに充実させていく。昨年度同様、週1回の「読書タイム」と「音読タイム」を設定し、学校図書館の図書館司書と連携し関係図書の並行読書を行う言語活動の育成に取り組んでいる。また、学期に1回「家庭学習力アップ週間」を設定し、自ら目標や計画を立てて家庭学習を行い、さらなる学力向上のための定着を図る。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	55	55
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4

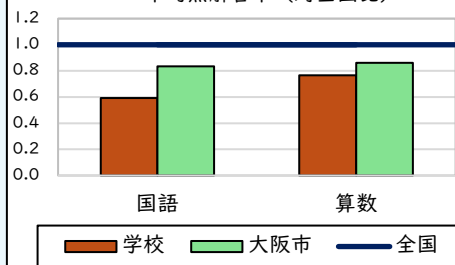
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.0	2.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2

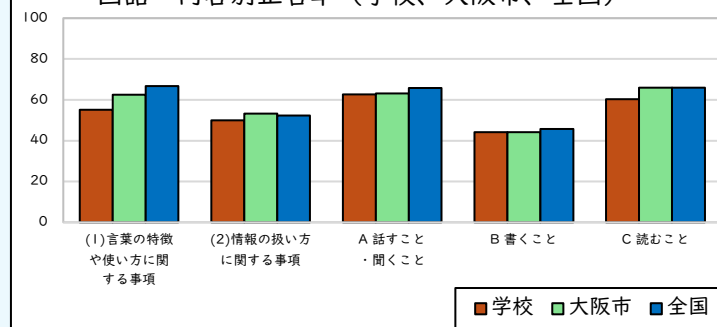
平均無解答率（対全国比）



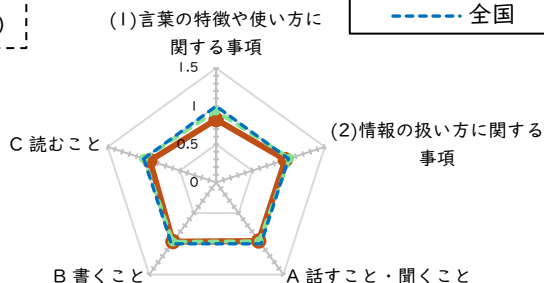
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	55.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	50.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	62.7	63.1	65.8
B 書くこと	2	44.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	60.3	66.0	65.9

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



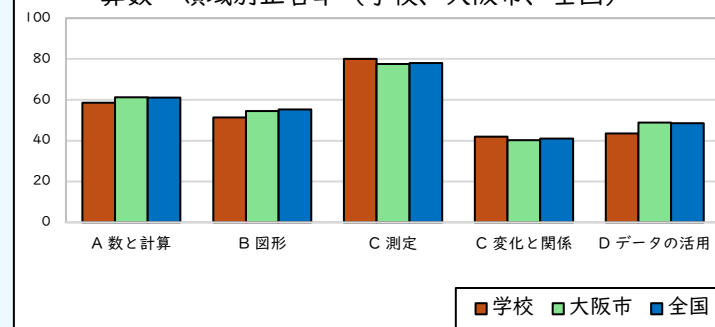
国語
内容別正答率
（対全国比）



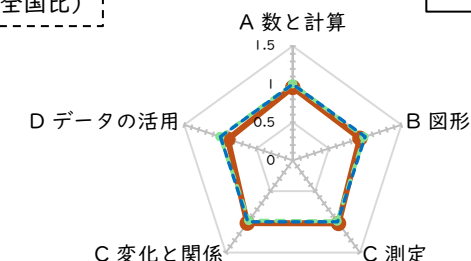
【算数】領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.6	61.2	61.1
B 図形	4	51.4	54.5	55.3
C 測定	1	80.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	41.9	40.3	41.1
D データの活用	4	43.6	48.8	48.6

算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



算数
領域別正答率
（対全国比）



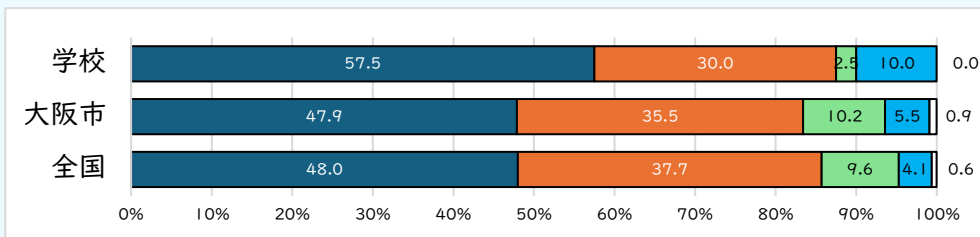
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（1）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

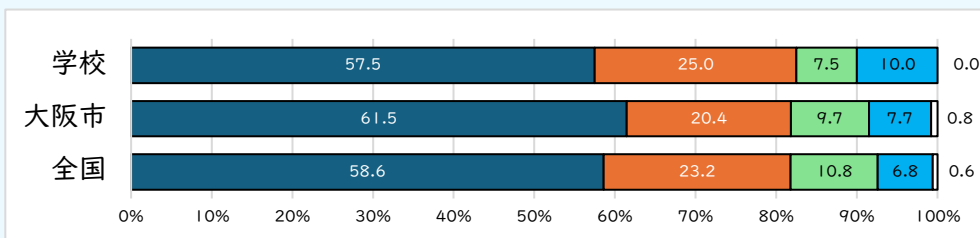
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



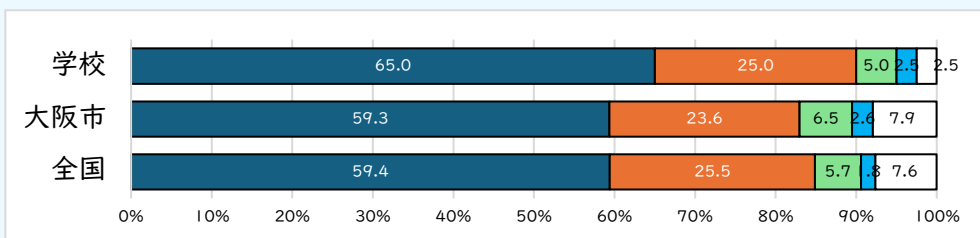
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10) 将来の夢や目標を持っていますか



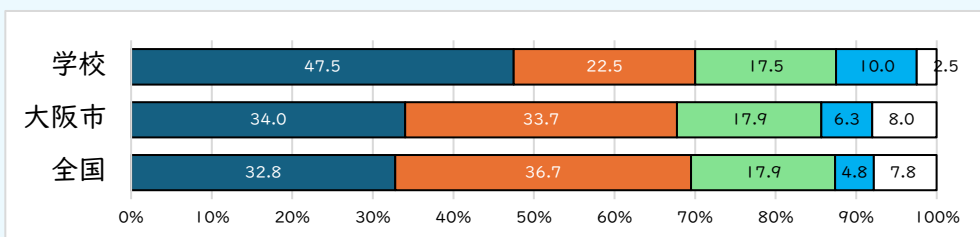
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(36-2) あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか



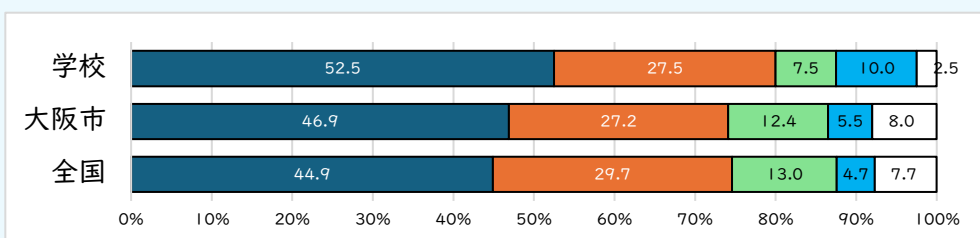
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(36-3) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

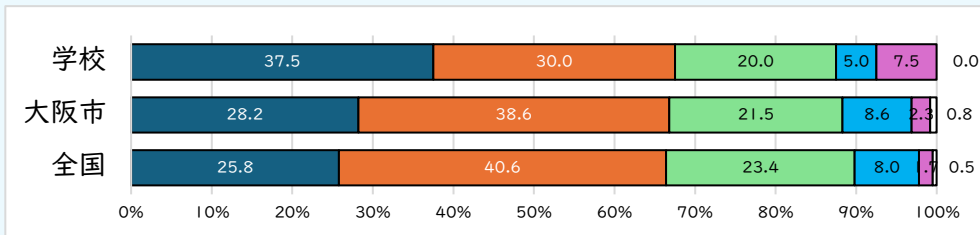
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（2）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

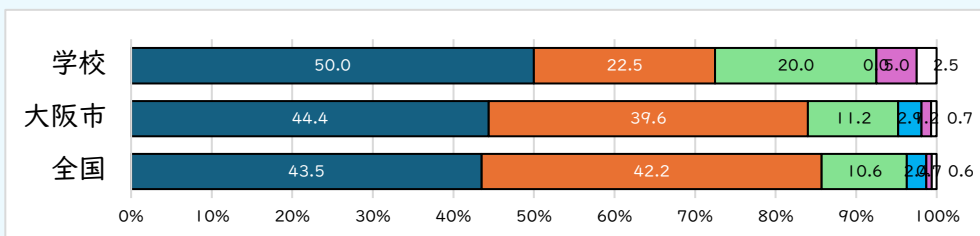
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(38) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



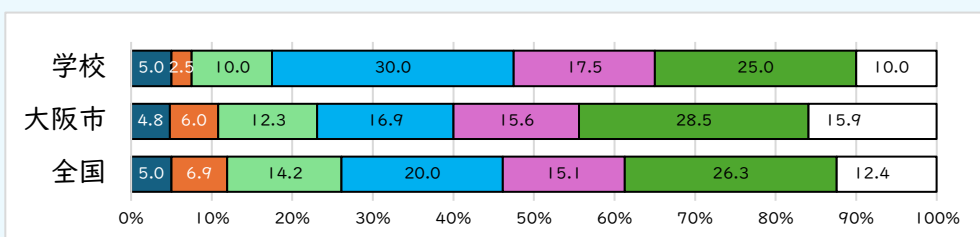
1 発表していた
2 どちらかといえば、発表していた
3 どちらかといえば、発表していなかった
4 発表していなかった
5 考えを発表する機会はなかった

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



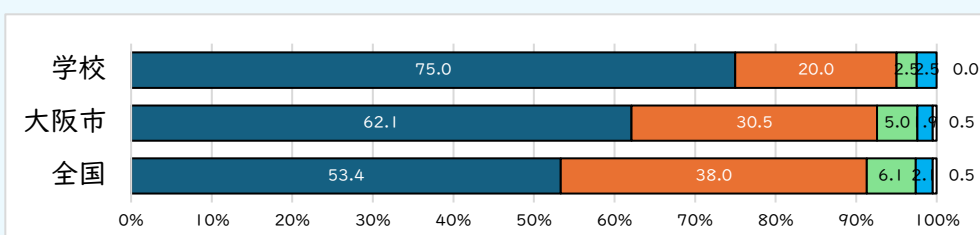
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



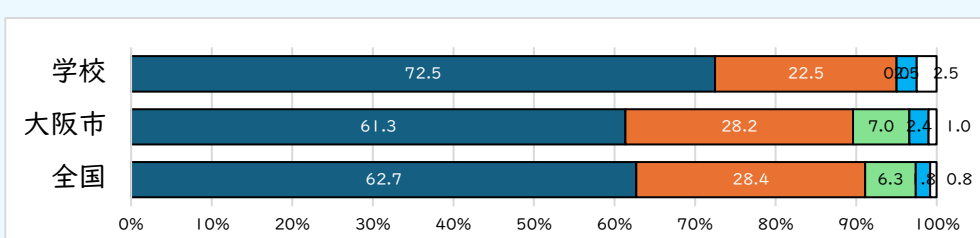
1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(17) 友達関係に満足していますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

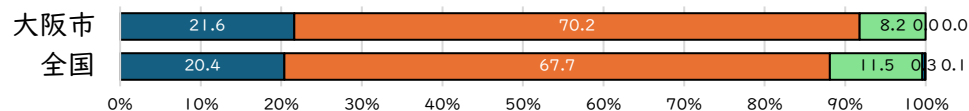
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

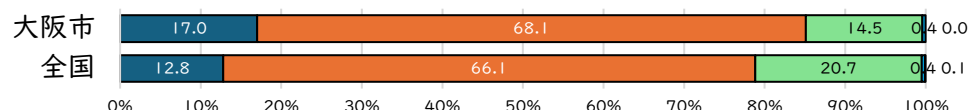


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(27)

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

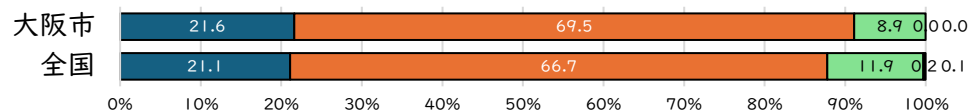


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

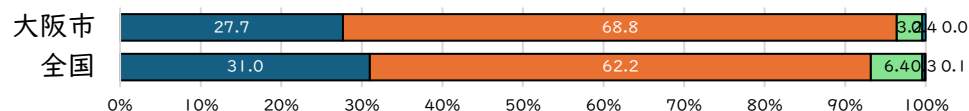


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

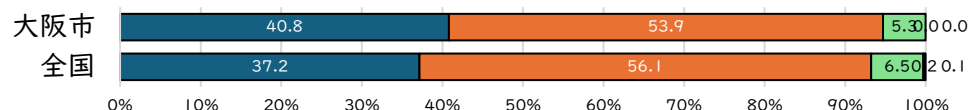


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、当てはまる



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない